



(写真提供：新保2 吉井久好氏)

小須戸公民館報

発行所 小須戸町 中央公民館
発行人 岡 謙 吾
発行日 毎月 15 日

新年あけましておめでとうございます 1995年 年頭のごあいさつ



小須戸町教育長 高橋 謙 司

「子供をとりまく 社会問題について考える」

子供を知るための心くばり

新しい年を迎え、町民の皆様方におかれましては益々ご健勝のことと、心からお慶び申し上げます。

社会教育、家庭教育、学校教育、いずれの面におきましても課題の多い昨今ではございますが、特に最近ではいじめの問題が連日のように新聞紙上をにぎわしております。

最近の中学生の自殺原因のトップは、親や教師に叱られたことを越えて「いじめ」であると語られています。

「いじめ」は決してよその出来事ではなく、緊急・切実な身近な問題として今からみんな真剣に考えておく必要があるのではないのでしょうか。

いじめに対する認識のずれを正す

「子供たちのいじめは、単なる遊びではなく、死に至るゲーム」化されてきており、それを見て、いじめている子供たちはこれを単なる「悪ふざけ」としか考えていないということに私たちがしっかり認識していなければなりません。

愛知県でも中一の男子が自殺しました。この子供が一ヶ月ほど前に仲間から椅子をぶつけられて頭を三針ほど縫うけがをしていて、いじめについて校長が「運悪く頭に当たったということだ、いじめという認識はなかった」

と話してまいりました。

このような認識でよかつたのかどうか。ひよっとすると、このような暴力が校内で日常化しているために、感じ方が鈍感になってきているのではないかとさえ考えられます。

椅子を持ち上げて投げつけるなどという行為は、正常な精神状態にあるものの行為とは決して考えられませんが、また、その子供がその時初めてやった行為だとも考えにくいものです。

親の方でも、「うちの子供はちょっと乱暴なところがあるけど、いじめたことなんてない」といって済ませることもできない行為であること、親自身が果たしてどこまで認識していたのかさえも疑問が残ります。

子供を知るための心くばり

「子供たちを見ていて、限りの何の問題もないようなので安心していただけるところ、教師や親の目の届かないところでいじめが進んでいたことをあとで知ったという話をよく聞きます。

子供たちの群れていること

「花と緑の町」にふさわしくここ数年のうちに町中花いっぱいになりつつあります。また、花とみどり館をはじめ、矢代田道のフラワーゾーン、商店街のボックスの外、下水路が美しいフラワー通路と変わりつつある程です。花は、その国やその町の文化水準をはかる尺度の一つと

るには必ずいじめが存在する」とい認識のもと「常に心くばりしていることが大切であり、このことは、子供を信頼することかしないとかということとは全く別のことであります。

このようにして早期にいじめのシグナルをつかんだとしても、その確かな事実を知るためにはまた慎重な対応を必要とします。なぜか、それはいじめられて

いる本人も、いじめている方も決してすぐに真実を話そうとはしないからです。

それは、自分がいじめられていながらもその子供にとっては、自分と親との関係よりも、自分と教師との関係よりも、自分と友だちとの関係の方がずっと大切であり強いからです。

子供は、自分が仲間から孤立してしまふことを何よりも恐れています。

あせり過ぎは禁物

子供は、いじめを教師に「告げ口」したことがもしも仲間内知れようものなら、それは今までのいじめに比べて返って悪くなることを知っています。

ですから性急に子供同士を対決させたり、または親がいじめを感じしたとたんに、前後をよく考えないで直ちに行動に走る

ことは、緊急な場合を別として決してよい方法とは思われません。

このような場合は、まずひと呼吸おいて気持ちを落ち着け、その子供のほんとうの気持ちをゆっくりと冷静に聞きとること

が大切で、そして気持ちを安定させてやり、それ以上の被害が決してその子供に及ばさないよう慎重に配慮しながらその後の対応策について考え、相談していくことが大切であると考え

ています。

また今の子供たちには、自分をいじめている相手を非難せず、とんとん自分自身を責め立て追いつめていくという心理的な傾向があることも忘れてはなりません。

学校に呼ばれた親が、「私の子供は周りで見ていただけで、何の関係もないのです。」と言ったといひます。

「傍観者も加害者」であり、そしてまた、「社会的に許されない行為は、たとえ子供であっても決して許されない行為なのだ。」ということも、家庭でも学校でも、しっかりと教えこんでいかなければならないと考えています。

幸い当町では今のところ心配になるようなさきが見えず喜んでおりますが、これもひとえに学校、家庭、地域それぞれの方々の懸命なご努力のたまものと心から感謝申し上げております。

ちよこつと一言 (82)

進めよう花の町づくり

「花と緑の町」にふさわしくここ数年のうちに町中花いっぱいになりつつあります。また、花とみどり館をはじめ、矢代田道のフラワーゾーン、商店街のボックスの外、下水路が美しいフラワー通路と変わりつつある程です。花は、その国やその町の文化水準をはかる尺度の一つと



本町五 荻森朝夫 さん

考えられますが、私は花の消費量や生産高もさることながら、「花が地域の人々とのような関わり合いをもっているか」ということが大切であると思えます。花を愛し、花を育てる住民運動は「町づくり運動」でもありましょう。それには、子供からお年寄りまで町民総参加により誇りにできる「花の町」づくりを……。

恭賀新年
今年もよろしくお願ひ申し上げます

中央公民館長 岡 謙 吾

小須戸分館長 榮森靖生 矢代田分館長 平間安雄
横水分館長 野崎迪夫 新保分館長 川瀬哲治

公民館運営審議会 (敬称略)

議長 村山 又雄
副議長 風間 貞一郎
委員 池田 恒夫
渡辺 忠美
佐藤 恒夫
渡辺 忠美
池田 恒夫
中野 富太郎
星野 悦作
板井 昭五
阿保 昭五
藤田 悠二
木根 義雄
山根 義雄
安田 啓一
山田 啓一
安達 啓一

館報編集委員会

委員長 間野道英
委員 古川 裕子
渡辺 裕子
風間 裕子
八木 裕子

図書委員会

委員長 風間 源一郎
委員 内山 和男
森田 義昭
村山 義昭
田山 義昭
沢山 義昭
迪子 睦昭

第二十三回

元旦マラソン大会

選手全員いっしょにかきました。

今年で二十二回を迎えた、恒例の元旦マラソン大会は、あいにくの曇り空で、ものすごく寒い日となりましたが、集まった選手のみなさんは午前十時三十分元気にスタートしました。選手の中には、他町の元旦マラソン大会にも参加し、当町で二会場目という選手もいました。3kmの部・5kmの部と各選手ケガや事故もなく、白い息を吐きながら元気に完走しました。各部門の結果は次のとおりです。



選手全員いっしょにかきました。

〈三kmコース〉(敬称略)

- ★親子マラソンの部(小学一年・三年)
- 子の名 親の名
 - 一位 武田悠嗣・敬幸組 13分04秒(横川浜)
 - 二位 中野大輔・利久組 13分42秒(新町三)
 - 三位 八木龍二・貴一組 15分42秒(花園町)

★小学生男子の部(四年・六年)

- 一位 長沢友人 11分59秒(京町)
 - 二位 八木隼人 12分06秒(松ヶ丘)
 - 三位 西山正明 12分09秒(新築町五)
- ★小学生女子の部(四年・六年)
- 一位 渡辺綾子 13分05秒(蔵町三)
 - 二位 小林淑子 13分06秒(中央町三)
 - 三位 砂井万寿子 15分31秒(新町二)
- ★一般女子の部
- 一位 風間和子 13分13秒(善美町)



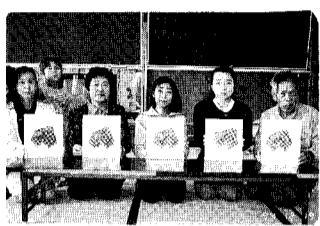
9日 乳児家庭教育学校 折り紙でサンタさんやくつ下などいっぱい折りました。



12月の ナイス ショット



9日 おもしろ雑学講座 薬草茶と水飲み健康法で楽しく生きましょう。



19日 折り紙教室 正月の獅子舞です。うまくいきませんでした。

- 二位 齊藤幸子 13分46秒(新津市)
- 三位 川瀬素子 13分59秒(京町)

〈5kmコース〉

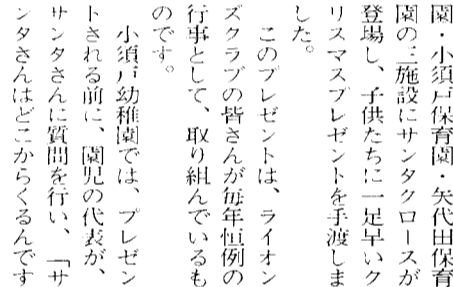
- ★一般男子の部
- 一位 小林 洋 17分18秒(亀田町)
 - 二位 川村 実 18分19秒(小倉市)
 - 三位 松原俊昭 18分30秒(白根市)

図書寄贈御礼

新潟市 加藤国一郎様
ありがとうございました。

第九回クリスマスの集いともちつき大会

参加者大いに盛り上がる。十二月十八日(日)小須戸小学校体育館において、恒例となりました手をつなぐ親の会と町教育振興特別教育館による「クリスマス」の集いともちつき大会が開かれました。



第九回クリスマスの集いともちつき大会

サンタさん！

十二月二十日(木)小須戸幼稚園・小須戸保育園・矢代田保育園の三施設にサンタクロースが登場し、子供たちに一足早いクリスマスプレゼントを手渡ししました。

もつつき大会

このプレゼントは、ライオンズクラブの皆さんが毎年恒例の行事として、取り組んでいるものです。小須戸幼稚園では、プレゼントされる前に、園児の代表が、サンタさんに質問を行い、「サンタさんはどこからくるんですか?」「サンタさんの子どもは誰人ですか?」「サンタさんはどうして車で行くんですか?」等色々を質問にサンタさんは一問一問熱心に答えていました。

このクリスマスプレゼントはライオンズクラブ創設から今年で二十七年目を迎えたそうです。サンタさん 本当に「苦労しました!」



祝クリスマスともちつき大会



祝クリスマスともちつき大会

アルミ缶処理報告

皆さまからアルミ缶収集のご協力をいただき御礼申し上げます。九月から始まり相当量となつた為、日本軽金属(株)新潟工場から計量してもらいましたので

冬休みアニメ映画会とマジックショー大盛況ノ

「度観に来て、一度楽しめる」これは、十二月十四日、中央公民館で催した、アニメ映画会とマジックショーのキャッチフレーズでした。

例年、公民館では、学校の冬休みに合わせて、多くの子供たちに楽しんでもらおうと、アニメ映画会を行ってきましたが、今回は、映画の他に、マジックショーも合わせて実施してみました。

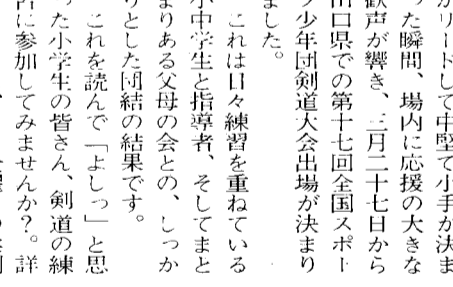
子供たちにとって、普段、観ることのできない楽しいマジックショーは、クリスマスのスベシャルプレゼントになったようです。

全国大会出場ノ小須戸町 剣道スポーツ少年団

去る十二月四日小須戸中学校にて、県予選会決勝戦、小出町剣道教室に苦戦しながらも先峰・次峰と勝ち進み最終小須戸町がリードして中堅で小手が決まった瞬間、場内に応援の大きな歓声が響き、三月二十七日から山口県での第十七回全国スポーツ少年団剣道大会出場が決まりました。

これは日々練習を重ねている小中学生と指導者、そしてまともとした団結の結果です。

これを読んで「よしっ」と思った小学生の皆さん、剣道の練習に参加してみませんか? 詳しいことは、月・金曜日の柔剣道場に、お待ちしております。



冬休み子供アニメ映画会・マジックショー

リストアップ

墨川会

公民館の教室のOB・有志の集いで、会員は現在九名で活動しています。それぞれ多忙ながらも同志少人数で楽しく練習してあります。

会の名称は、日本を誇る信濃川の一字と先生の名前の一字をいただき皆さんで決めました。

水墨画の美しさを求め、技能の向上をはかりながら、毎月第二・第四日曜日の午後、川瀬勝平先生(当町出身)から指導していただいております。

毎年、公民館主催の町民展及び県都新潟市での水墨画展にも出展しております。

ものを描くには、デッサンが大切ノと年一回のスケッチ会等も計画し、出かけています。

「細く長く」をモットーに、息切れしないよう、会員みんな和気あいあいと活動していま



冬休み子供アニメ映画会・マジックショー

催し物ノ案内

生きがい講座
日時 二月二十四日(火)
午後二時三十分から三時
会場 小須戸町福祉センター
講師 大野 風柳さん
(柳都川柳社主幹)

二月のおもしろ雑学講座
日時 二月十日(金)
午後七時三十分から九時
会場 中央公民館二階会議室
講師 岡 謙吾(中央公民館長)

「戦後五十年の流行語について」
寒稽古の二案内
期日 二月二十三日(月)から二十九日(日)まで
会場 柔道 柔剣道場
剣道 小須戸中体育館
時間 午後六時二十分から九時
主催 小須戸町柔剣道振興協議会

へお知らせ

第四級アマチュア無線技士養成課程講習会 (国家試験免除)
期日 三月十九日(日)開講日及び平日の夜間四日間、延べ十四時間
会場 ふれあい会館 研修室
申込み 詳細は中央公民館まで講習会終了日に試験を実施し合格者全員に無線従事者免許証を交付します。なお年令制限等は一切ありません。

べ切日 三月十二日(日)まで
定員 五十名(受講料が要)

主催 日本アマチュア無線連盟
小須戸町アマ無線クラブ

文芸欄

- 柳 根気よく鍛えて頂く月桂樹 長井武雄
根気よく鍛えて頂く月桂樹 加藤米二
根気よく鍛えて頂く月桂樹 保科志枝
根気よく鍛えて頂く月桂樹 吉田みな
- 川 平安の夢を重ねつ「紫宸殿」力強く字間近に見上げる 村山浩子
入り海の心がそこにあるごとく寒の河原に 白波の寄す 村山 睦
澄みわたる高き空ゆくヘリコプターわれは 見おくる点となるまで 長井武雄
今日も雪と言えば愛話器に伝わりて芳らう 声の友も老いと 野保怜子
- 歌 冬構日和となりて梯子出す 村木リツ
声あげて刈田に見らの縄電車 荒木愛子
城趾に石碑ひとつ山眠る 吉田美樹子
その中の葉に選ぶ落葉かな 藤井れい
山茶花の散り敷き土を眠らせる 丸山虚秋
落葉いま寄せきて朝の濃茶かな 内山越楼
菊つみや暮色の畑に母一人 小林富沙子
ある限り一樹全身紅葉す 中野太浪
- 俳 句